

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		一時保育				所管	教育委員会 児童保育課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	219	計画事業名	一時保育	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成				[事業開始] 平成 5 年度			
		[小 柱] (2)就学前児童に対する教育・保育の充実				[終了予定] - 年度			
		[施策] ②多様な保育サービスの展開							
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区一時保育実施要綱					
	事業対象	直接の対象 : 利用月の1日現在満1歳(緊急保育は、利用月の1日現在生後8ヵ月)から就学前の児童 最終的な対象 : 同上							
	事業目的	一時的に保育を必要とする児童に対し、必要な保育を行うことにより、保護者の子育て支援と児童福祉の増進を図る。							
	事業内容 [29年度]	[実施園] 坂本保育園、東上野保育園、一時保育室あさくさばし、ことぶきこども園、たいとうこども園 [定員] 各園5名、一時保育室8名 [保育時間] 午前9時～午後5時 ※給食あり [保育の種類] 緊急保育(里帰り出産を含む)、非定型保育、私的事由保育 [保育料] 1日1,500円、区民税課税額5,000円未満の世帯は1,000円、非課税世帯は無料(同世帯で同一日の2人目以降は、上記保育料の7割の金額)、里帰り出産は1日2,000円							
委託の有無	一部委託	委託内容		非常勤職員健康診断、一時保育あさくさばし運営業務委託					
補助金の有無	国・都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績		
	活動指標	定員数	人	8,200	7,350	7,320	8,204	7,350	111.6%
		成果指標	延利用人数	人	7,380	6,341	6,430	7,034	6,400
		利用率	%	90.0	86.3	87.8	85.7	87.0	98.5%
	決算額 (単位:千円)				27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			47,078		43,001		32,256
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			6,784		6,363		21,054
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0		0		0
		総経費			53,862		49,364		53,310
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			4,475		4,927		6,003
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			8,904		9,023		9,046		
一般財源(区負担額)			40,483		35,414		38,261		
前回評価から29年度に改善した事項	園と利用者との面接が必要な場合の調整方法を見直すなど、業務の効率化を図った。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	親の共働きや祖父母が就労しているなど周囲の援助を受けられないケースの増加により、区民のニーズは依然として高い状態である。						
	効率性	3	事務事業コストはほぼ横ばいであるが、利用者数は増加しており、コストに見合った効果が得られている。						
	手段の適切性	3	区の直接運営と指定管理者制度を導入した事業運営(委託)を行っており、適切な事業運営ができています。						
目的達成度	3	保護者の就労等を理由とする非定型理由、通院や学校行事等を理由とする私的理由を中心に利用者は増加している。平成29年度は、利用定員を拡大したが、利用率は順調に推移している。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性			
平成29年4月より浅草橋保育園から一時保育室あさくさばしに移行し、利用定員を5名から8名へ拡大し(施設全体の利用定員は25→28名)、利用者数も増加している。非定型理由のほか、緊急理由や私的理由でも利用者も多く、区民ニーズに基づいたサービスが提供できた。						維持	拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		